

学苑



第41回合同体育祭



キャンパス父母懇談会



千住キャンパス学食再開
記念サブレ



2022年度 父母懇談会報告(キャンパス会場)

参加者のみなさまからの声 p.3

就職キャリア支援 p.10

TDUトピックス

・東京千住キャンパスの学生食堂が運営再開！ p.5

・第41回合同体育祭 p.7

学部生紹介 p.9

各キャンパスの紹介(CAMPUS MAP) p.19

サポート募金実施事業について p.20

Topics

イベント参加支援結果発表 p.16

TDU Space Project | 自動車部 | FCV・EVプロジェクト

後援会活動報告

皆さまには、平素より後援会活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の影響はまだまだあるものの、対面での授業やイベントなども再開しつつあり、全面的に学生たちが青春を謳歌できる日が来ることが待ちわびられます。とはいえ、後援会としましては大学教職員の皆さまと連携して、感染防止対策に配慮をしながらの活動を行ってまいりました。



後援会長
金澤 美奈子

【総会】

5月に開催する総会は、常任評議員は東京千住キャンパスで対面と、議事進行上で出席必須以外の評議員はZoomでも参加できるハイブリッド形式で実施いたしました。そのうえで、2022年度事業計画案及び予算案は役員会にて慎重に審議し、計画及び予算を承認しました。

【常任評議員会】

7月と9月の常任評議員会では、父母懇談会の開催について検討し、本誌『学苑』の委員委嘱を行いました。



7月9日(土) 常任評議員会の様子

【父母懇談会開催事業】

後援会の主要イベントである「父母懇談会開催事業」は現在進行中です。皆さまに大学キャンパスまたは地方の会場においていただき、教員による個人面談、職員による個別相談を行っております。学業・成績・生活・就職活動などお子さまの大学生活全般を教職員から直接聞くことができる機会です。例年ですと、さらに懇親会やキャンパス見学会も行っていたのですが、昨年に引き続き今年も感染防止に配慮して、会場の滞在時間を短縮する方法をとらせていただいております。

これからご参加される方は、教職員と親睦を深める絶好の機会ですので、日ごろ感じておら

れることやご不明な点がございましたらお気軽にお話しいただければと存じます。

なお、各会場では後援会の役員が受付を担当いたします。後援会のメンバーも大学生の父母・保証人の一人として皆さまとの気軽な情報交換をさせていただければと思っておりますので、ぜひお声がけください。

【広報活動】

「広報活動」としては、大学やキャンパス、学生の様子をお届けする情報誌『学苑』を発行し7月と11月(本号)にご父母・保証人にお届けいたしました。

【学生支援活動】

9月の常任評議員会終了後、イベント参加支援の審査をし、5つのプロジェクトおよび部活に資金支援を決定(*)しました。学生のイベント活動への支援資金については、コロナ禍ということもあり応募団体が少なく、できるだけ早くに学生の皆さんが様々な活動を再開できるように感じた次第です。

*P.16～18にイベント参加支援の決定団体からの報告を掲載しておりますので、ぜひご覧ください！

(次号で、残りの2団体の報告を予定しています)



9月10日(土) イベント参加支援の審査会 学生発表の様子

今後ぜひ、後援会活動にご理解ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

2022年度 父母懇談会 事務局中間報告(キャンパス会場)

今日では多くの大学において父母懇談会が開催されておりますが、本学では他大学に先駆け1967(昭和42)年から父母懇談会を開催し、ご父母・保証人と後援会役員、大学教員、大学事務局と共に懇親を深めつつ、大学の状況、教育、生活をご父母・保証人へお伝えしてまいりました。

今年度父母懇談会のキャンパス会場は、コロナ禍ではありましたが、無事にすべて開催することができました。今年度も昨年度に引き続き、全体会は中止とし、それに代わる「父母懇談会パンフレット」を配布し、各学科・学系の教員が個人面談を実施しました。また、併せて、学修・就職・学生生活の個別相談コーナーを設け、事務職員が対応いたしました。

東京千住キャンパス会場は、例年の学部ごとではなく学年ごとに変更し、9月3日(土)は全学部(工学部・工学部第二部・未来科学部・システムデザイン工学部・情報環境学部)の1年生と4年生、9月10日(土)は全学部の2年生・3年生を対象に開催しました。

埼玉鳩山キャンパス会場は、昨年はコロナ禍で中止となりましたが、今年は例年通り全学年を対象に9月17日(土)に開催することができました。

お陰様で、昨年のキャンパス会場参加者より多くのご父母・保証人のみなさまにご出席いただき、無事に終えることができました。ありがとうございました。

*父母懇談会のキャンパス会場にご参加いただいたご父母・保証人のみなさまより「父母懇談会参加者のみなさまからの声」(P3~4)が届いておりますので、ご覧ください。

*次号では、父母懇談会「地方会場」の報告を予定しています。

会場	開催日	後援会役員	面談教員	出席者数	
東京千住 キャンパス	9/3(土) 全学部(1・4年生) 工学部・工学部第二部・未来科学部・ システムデザイン工学部・情報環境学部	副会長・常任評議員 (5名)	各学科教員 (81名)	233組	330名
東京千住 キャンパス	9/10(土) 全学部(2・3年生) 工学部・工学部第二部・未来科学部・ システムデザイン工学部・情報環境学部	会長・常任評議員 (5名)	各学科教員 (95名)	305組	433名
埼玉鳩山 キャンパス	9/17(土) 理工学部(全学年)	副会長・常任評議員 (4名)	各学科教員 (46名)	191組	293名
本学キャンパス会場 計				729組	1,056名

後援会役員より父母懇談会の報告

●常任評議員 小林 知子(9/3 東京千住キャンパス 全学部 1・4年生)

2022年度初めての父母懇談会でしたが、当日は朝早くから多くの保護者の方々が足を運ばれていました。後援会ブースでは、父母懇談会のアンケート協力をお願いを中心にお手伝いさせていただきました。後援会活動への参加は初めてでしたが、他の役員の方と交流もでき、私自身にとっても有意義な時間となりました。

●常任評議員 金木 裕二(9/3 東京千住キャンパス 全学部 1・4年生)

初めての参加で右も左も分からない状態でしたが、大学側の適切なご説明、一緒に対応頂いた常任評議員の方々同士で目配りをしながらご父母・保証人の皆様への対応が出来ましたので、反省点はありますが、概ね良かったと思っています。参加されたご父母・保証人の方々の懇談会への期待と真実さが伝わり、気が引き締められました。対応させて頂きありがとうございました。

●常任評議員 手塚 秀美(9/10 東京千住キャンパス 全学部 2・3年生)

まだまだ暑さが続くなか、多くのご父母・保証人の皆様が参加してくださいました。校内見学はできませんでしたが、個人面談にも多くのご父母・保証人が参加され、とても熱心な印象でした。帰り際にはアンケートのご協力も快く応じていただき嬉しく思いました。

●常任評議員 今井 隆(9/10 東京千住キャンパス 全学部 2・3年生)

今回、初めて父母懇談会のお手伝いをさせて頂きましたが、大学の先生・職員の方と直接相談できる場が設けられていることにまず驚き、多くのご父母・保証人の皆様が熱心にご参加されていることにも驚かされました。また、この素晴らしい取り組みを、ぜひ他の皆様にもご活用頂きたいと感じました。

●常任評議員 山本 真紀(9/17 埼玉鳩山キャンパス 全学部・学年)

3年ぶりに理工学部の父母懇談会が開催され、当日は朝早くから多くの方がご来場されました。先生方との個人面談前後に個別相談ブースに寄られる方も多く、職員の方々に熱心に質問される様子が印象的でした。来年はキャンパスツアーも併せて開催されると良いなと思います。

●常任評議員 久保 信(9/17 埼玉鳩山キャンパス 全学部・学年)

当日はびっくりしました。就職、成績、学生生活と多くのご父母・保証人の方々が相談コーナーに来られて、長い待ち時間を耐え、皆様が沢山のご相談をされていたようでした。事務局は待ち時間を減らすべく、ブースの増設を検討すべきと思います。ストレスの無いスムーズな運営でご父母・保証人の方々の安心参加が必要と反省します。



2022年度 父母懇談会報告 参加者のみなさまからの

キャンパス会場

声

後援会主催の父母懇談会では、学内の最新の情報やご子女の学修、就職状況など、タイムリーに紹介されております。

また、同じ大学で学ばれているご父母・保証人同士の交流や情報交換の場としても活用していただけます。

父母懇談会へぜひご参加ください。



2022 父母懇談会パンフレット



東京千住キャンパス会場
9月3日(土)

工学部 電子システム工学科
飯田 亨様・智子様

息子が今年、電子システム工学科に入学しました。

大学の授業は今まで学習した「基礎学力」をベースにした応用力が必要となるので、「本当に勉強についていけるのか」という心配もあり、父母懇談会に出席させていただきました。

懇談会では、担当の先生が「前期に行われた試験結果」

を一つ一つ丁寧に分析いただき、問題点をあげ、今後の対応について親身にご指導いただきました。また何よりも安心できたのは、「いつでも相談してほしい」という温かい言葉をいただけたことです。

大学は「父母との関係は希薄」というのが一般的ですが、東京電機大学は父母との関係を強化し、子供の将来と一緒に考える機会を用意してくれています。

今後、学業だけではなく「進路や就職」のことで本人も悩むことが多くなると思いますが、本人の意見を尊重しつつ、必要に応じ、適切なアドバイスができればと考えております。大学関係者の皆様、大変良い機会を設けて頂き、ありがとうございました。



東京千住キャンパス会場
9月3日(土)

工学部 機械工学科
吉川 泰弘様・雅子様

息子が今年度から工学部機械工学科でお世話になっております。

父母懇談会への参加は単純に息子が毎日通っている学校がどんどころか見てみたくて決めましたが、当日面談を担当してくださった先生に、息子が関心を持っていること、やってみたくて言っていることなどを話しますと、そ

れを伸ばしていくには何が大切か、どういう分野を勉強すると良いかなどのアドバイスをいただきました。大変参考になり、有意義な時間を過ごすことができたと思っております。

また学校は駅から近く、校舎も新しくきれいで、こんな学校で勉強できる息子は幸せだと思いました。

最後になりましたが、コロナの感染が再拡大していた中、父母懇談会の開催にご尽力いただいた関係者の皆様に御礼申し上げます。当日の流れは大変スムーズで、関係者の皆様がお忙しい中、懇談会が滞りなく進むよう準備をしてくださったからだと思っております。ありがとうございました。





東京千住キャンパス会場
9月3日(土)

工学部 先端機械工学科
菅田 匡秀様・公子様

今年度より息子が工学部でお世話になっております。父母懇談会のご案内を頂き、息子がお世話になっている大学の空気を生で感じることができる機会と思い、夫婦で参加させていただきました。

個人面談では、成績、進級、大学院への進学、就職につ

いて丁寧に説明して頂きました。大学院への進学については、3回生の後半から始まる卒業研究で、“楽しい”“もっと深めたい”と感じたら進学するのが理想的というお話を伺いました。保護者として留意しなければならない点について、「特にありませんが、強いて言えば健康に気をつけてあげてください」とのお話がありました。先生方が、学生の興味関心を大切に、見守ってくださっていることを感じると同時に、私たち保護者もゆったりとした気持ちで息子を見守ることの大切さに気付くことができました。

このような機会を設けてくださいました大学関係者、後援会の皆さまに心より感謝申し上げます。



東京千住キャンパス会場
9月10日(土)

未来科学部 建築学科
宮本 政則様・たつえ様

息子が未来科学部建築学科の2年に在籍しています。毎日通学している息子の学校での様子を知る良い機会かと思ひ、今回初めて夫婦で北千住キャンパス会場での懇談会に参加させていただきました。

北千住の駅前に立地しているキャンパスは新しく清潔

感があり、初めて建物内にも入りましたが、本当に恵まれた環境で学んでいるなと感じました。

面談では最初緊張していた私達でしたが、和やかな雰囲気の中、成績や進級、大学院への進学について丁寧な説明があり、また学業に対する向き合い方等、適切なアドバイスをいただき非常に有意義な時間となりました。

来年は息子も3年生となるので研究室について話を伺いたいですし、可能であれば今回叶わなかった校舎内の見学もしたいので、次回の懇談会も是非参加したいと思います。

最後になりますが、このような機会を設けていただいた大学関係者、後援会の皆様に感謝申し上げます。



埼玉鳩山キャンパス会場
9月17日(土)

理工学部 情報システムデザイン学系
大城 啓子様

今年度より息子がお世話になっており、今回初めて父母懇談会に参加させて頂きました。

就職相談、個人面談、成績相談、学生生活の順にご相談させていただきましたが、成績表を確認しつつ、現状と課題のアドバイスをいただけました。息子の頑張りも伝わり一安心しました。また来年も参加させて頂きたいと思ひます。



東京千住
キャンパス

学生食堂が運営再開!



2022年10月19日、東京千住キャンパスの学生食堂が運営再開しました。新型コロナウイルスの感染拡大により、運営を休止していましたが、装いも新たに学生食堂が再スタート！（後援会では学食の補助をしています）

オープン前日には、オープニングセレモニー&試食会が行われました。参加者は、後援会副会長2名をはじめ、学長、副学長、理事長、役職教職員、各学生団体の代表者（約13団体）でした。

初日から4日間は、100円引きのオープン記念価格もあって大盛況でした。これからも学生さんの健康を考えたメニューを用意していきますので、ぜひご利用ください。



試食会の様子



みんな大好き「唐揚げ定食」



射場本学長よりご挨拶

学長のラストサブレ



学生団体より試食の感想を伝えている様子



オープン初日は、学食前が長蛇の列になり、大盛況!



電大ソフトは3種ソースかけ放題!

東京電機大学では下表に示すように9種類の大学独自の奨学金制度があり、修学支援に力を入れています。さらに「日本学生支援機構奨学金」や各種団体による奨学金を含めると、学部生と大学院生を合わせて、4,000名を超える学生が奨学金を利用して学生生活を送っています。

奨学金に関するお問い合わせは、各キャンパス(学生厚生担当)まで、ご連絡をお願いします。

名称	資格	募集時期	採用時期	金額	返還	(2021年度)採用実績
特別奨学金 (給付)	学部2～4年次、大学院博士課程に在学し、人物優秀で学業成績優秀、かつ学費支弁が困難な者。	5月	7月下旬頃	学部 280,000円 博士課程 476,376円	—	学部25名 大学院(博士) 27名
大学院進学特別奨学金 (給付)	本学大学院修士課程への進学促進のための経済的支援策(経済的に修学困難な学生への支援策)として学内推薦入試で合格した本学学部生のうち、成績ならびに人物が優秀な者。	10～11月	1月下旬	年間授業料相当額 (大学院初年次のみ)	—	学部21名
学生応急奨学金 (給付)	学部在学中、人物優秀で学業成績優秀、かつ学費支弁が困難な者。	1年以内に家計急変があり学費支弁が困難な者で、他奨学金の貸与状況・家計急変状況・学費延納状況等から総合的に判断し、本奨学金の趣旨に相応しい人物を採用。定期募集は行わない。		50万円の範囲内で決定	—	学部0名
学生サポート給付奨学金 (給付)	学部在学中、過去1年以内に家計に急変があり、修学意欲がありながら学費支弁困難であり、大学が主催する学生行事において学生ボランティアスタッフとして協力できる者。	5月と9月の年 2回	7月下旬・ 11月下旬	学部 250,000円	—	22名
東京電機大学 深井綾女性研究者・技術者 育成特別奨学金 (給付)	大学院に在籍し、本奨学金の趣旨を理解している者で、大学行事において学生ボランティアスタッフとして協力できる女性学生。	5月	7月	100,000円 ただし、工学研究科 (社会人コース)に在籍 者は66,000円	—	82名
学生救済奨学金 (貸与)	学部・大学院に在学し、保証人(家計支持者)の経済的な理由で学費の支払いが困難な学生。貸与は在学期間中1回に限る。	4月と9月の年 2回	6月下旬・ 11月下旬	該当学期(セメスター)分の学費相当額。 奨学金は学費に充当する。	無利子・ 卒業後5年間 (繰り上げ返還可)	8名 (申請者なし)
学生支援奨学金 (貸与)	学部・大学院に在学し、本学主催の海外英語研修への参加および高額な教育装置の購入など自己資質向上を目的とする学生。貸与は在学期間中1回に限る。	随時		30万円の範囲 で査定	無利子・ 卒業後5年間 (繰り上げ返還可)	0名 (申請者なし)
大学院貸与奨学金 (貸与)	大学院に在学し、人物優秀にして学業成績が良好、かつ学費支弁が困難な者。	4月と9月の 年2回	6月下旬・ 11月下旬	該当学期の 学費相当額	無利子・ 卒業後5年間 (繰り上げ返還可)	1名
校友会奨学金 (貸与)	学部・大学院に在学し、家庭の経済的事柄の急変により学業継続が困難な学生(主に卒業年次生対象)。貸与は在学期間中1回に限る。	随時。但し、学費に充当するため、学費納入期限以前の応募が望ましい。		1回に納入する学費 等の相当額	無利子・ 卒業後5年間 (繰り上げ返還可)	2名 (申請者なし)
日本学生支援機構奨学金 (貸与)	国が実施する貸与型の奨学金。第一種(無利子)と第二種(有利子)がある。	4月と9月の 年2回	7月上旬	奨学金の種類等により 月額2万円～12万円 (学部)	卒業7か月後から 機構が定める 金額、期間で割 賦返済。	在学生の 約40%が利用
日本学生支援機構奨学金 (給付)	国が実施する給付型の奨学金。学部生のみ。	4月と9月の 年2回	7月上旬	経済基準及び通学形 態等により 月額 12,800円 ～ 75,800円	—	学部 約700名
各種団体による奨学金 (給付・貸与)	地方公共団体や、各種民間団体の奨学金募集が数多くあり、毎年30名程度が利用。					

※今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、前期の募集時期・採用時期が一部変更となりました。



第41回合同体育祭開催

コロナ禍に伴い5月の開催を10月に延期し、3年ぶりの開催となった第41回合同体育祭が2022年10月2日(日)に開催されました。10月初旬にもかかわらず、強い日差しが注ぐ晴天の中、356名もの学生・教職員が参加し、各キャンパス一丸となって競技に参加しました。

当日は予定のプログラムをすべて行い、大きなケガや事故もなく、盛況の中、閉会式で幕を閉じました。3年ぶりの開催ということで、これまで合同体育祭を経験したことのない両キャンパスの実行委員会が互いに声を掛け合って協力し、精力的に準備・リハーサルを行った結果、当日は滞りなく運営することができました。

今年度も東京千住キャンパス対埼玉鳩山キャンパスのキャンパス対抗形式で行い、結果は埼玉鳩山キャンパスの優勝となりました。

最後になりましたが、後援会の皆様には合同体育祭の開催にあたり、多大なるご理解・ご支援を賜り、誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

Time Schedule タイムスケジュール

10:00	開会式
10:20	大玉送り
11:00	100m走
11:40	玉入れ
13:20	借り人障害物競走
14:00	長縄跳び
14:30	綱引き
15:10	閉会式
15:30	解散



体育祭実行委員長より

2022.10.02 SUN.



東京千住
キャンパス

東京千住キャンパス
体育祭実行委員会 委員長
工学部
電気電子工学科 3年
横山 叡智

澄み渡る秋空の下、3年振りとなる第41回合同体育祭を無事に開催することができました。

コロナ禍に入学した私達は、合同体育祭の経験がないため、過去の資料を見ながら手探りで準備を始めました。合同体育祭の会議にメンバー全員がなかなか揃わない中、お互いをフォローしあいながら作業を分担したことや、鳩山キャンパスに実際足を運んだ際には、作成していた競技プランの変更が必要となり、各部活動から手伝いに来てくれた補助員の仲間と競技プランを練り直したことなど、協力することの大切さを改めて実感しながら当日に向けての準備を進めてまいりました。

当日は両キャンパスの学生同士、和気藹々とした雰囲気の中で交流を深めることもでき、無事に体育祭を終えることができ、今は安堵の気持ちでいっぱいです。

今回無事に運営を終えることができたのも、周りの仲間たちの支えがあつてのものとして改めて感じています。

次年度は、今回の経験をしっかりと次の体育祭実行委員長に引継ぎし、今年度以上に学生に楽しんでもらえる合同体育祭を開催できればと思います。

最後になりましたが、この合同体育祭の開催にご尽力、ご支援していただきました後援会並びに大学関係者の方々に厚く御礼申し上げます。



埼玉鳩山
キャンパス

埼玉鳩山キャンパス
体育祭実行委員会 委員長
理工学部
情報システムデザイン学系 3年
野中 慈永

今年は「復挑」というコロナ禍を乗り越え【復活】し、新しい【挑戦】をしていくという造語をスローガンとして設定し、体育会本部と学生厚生担当職員の皆さんで協力し、3年ぶりの合同体育祭を行うことができました。

特に大変だったのは前日までの準備でした。何度も会議をして、準備を進めていく中で、体育祭を経験していない私は具体的なイメージがついておらず、常に探り探りでした。

そのような時、体育祭を経験している修士の先輩方や、職員の方の指導もあり、挫けずに準備を進めることができました。

不安と期待が入り混じった状態で迎えた体育祭当日、一緒に準備をしてくれた役員や、私が所属しているサッカー部の協力もあり、無事、大盛況で体育祭を終えることができました。この経験は私にとって非常に大きな自信となりました。また、次の体育祭実行委員長に引継ぎをしっかりと行い、さらに良い合同体育祭を開催していけたらと思います。

最後に、後援会の皆様には、合同体育祭実施にあたり、毎年多大なるご支援、ご声援をいただき、誠にありがとうございます。大学関係者の皆様からのご支援・ご協力にも、心から感謝を申し上げます。



挨拶する射場本学長



学部生紹介
Interview



早川 欣克さん

工学部第二部
情報通信工学科

東京電機大学へ入学したきっかけ

私が東京電機大学に入学した理由は、夜間学部を有していたからです。私は高校生まで富山県で生まれ育ちました。夕方から夜にかけて大学の講義を受講できる夜間学部は、昼間にアルバイトやインターンなどで社会経験を積むことができ、自分のペースで時間を有効に活用できるのではないかと考え入学を決意しました。

企業での経験について

昼間の時間を利用して、数社の企業で勤務する経験も得られました。2年間務めた企業ではカスタマーサポート部門に在籍し、顧客からの問い合わせ対応や業務フローの改善業務を担い、顧客体験の改善・向上に取り組みました。担当者として幾度となくお客様の対応にあたる過程で、表面上の現象に捉われるのではなく、お客様の抱える本質的な課題を発見する力を育むことができました。大きな裁量を頂き働く経験を通して、企業人として生きる事の厳しさや、それに伴う責任、やりがいなどに気づくことができました。自分にあった仕事や働き方が何なのか、働くこと、生きることと向き合う貴重な時間になったと感じています。



課外活動について

●学園祭実行委員会

入学と共に上京した私は身近に知り合いが全く居なかったため、たまたま高校の先輩が在籍していた学園祭実行委員会に所属しました。委員会では広報活動を行う部局で、公式HPの作成や、SNS、パンフレットなどを用いた学園祭のPR活動に携わりました。最初は打算で始めた委員会の活動でしたが、委員会の仲間と同じ目的・目標に向かって活動する中で、チームで活動することの面白さや難しさに気づく事ができました。

●B-project*

私の大学生生活を振り返る上で新型コロナウイルスの話題は避けられません。コロナ禍により、私達の学生生活



は一変しました。ありとあらゆる繋がりが分断されるなかで、停滞してしまった学生生活や学生団体の活動を再起させるプロジェクトを、千住・鳩山、両キャンパスの教員・職員・学生の協働で計画し、実行しました。このプロジェクトは、新入部員を獲得したい団体と、課外活動に興味があっても団体との接点を持てなかった学生とをマッチングさせる交流会の企画から始まり、団体の次期リーダーの養成を目的としたリーダーズキャンプへ続き、卒業式では記念動画の放映、入学式では新入生参加型のクイズイベントを日本武道館にて実施しました。困難な社会情勢の中でも、思考停止すること無く自ら考え行動する姿を示せたことは、電大の活気を取り戻す一助になれたのではないかと手応えを感じています。

また、これらの活動はキャンパスや立場の垣根を超えたチームワークによって支えられており、まさに私のこれまでの学生生活の集大成となりました。今回の活動で感じることでできたチームワークを社会に実装していく、「チームワークあふれる社会を創る」ことが次の私の目標です。

*こちらのプロジェクトについては、前号の162号P.4下に掲載しています

特集

東京電機大学

就職キャリア支援

～一人ひとりに合わせたキャリアデザインをサポート～

東京電機大学
就職キャリア支援

■資格取得のサポート

資格試験は大学で学んだ知識や技術がどれくらい社会で通用するのか、自分の実力を測ることができます。就職する際に必要な資格というのはそれほど多くはありませんが、学生のうちに取得できれば就職活動では意欲やスキルの証明にもなり有利です。また社会にでてからも仕事で役立つ場面でできます。学ぶ環境が整っている学生の内に取得できるよう、本学では資格取得に役立つ講座を年間を通して対面または、オンラインで実施しています。オンラインで開催している講座の多くはオンデマンド配信を行っています。

資格支援講座のご紹介

- 情報技術者講座(基本・応用) ●第二種電気工事士講座 ●技術英語能力検定講座
- 宅地建物取引士講座 ●2級建築士アカデミック講座 他

■キャリア・就職支援活動について

企業の採用活動は早期化の傾向が続いています。政府の方針では3月1日が企業の広報開始日となっており、その前の6月から2月までを就職活動のプレ期と呼んでいます。本学ではこのプレ期にインターンシップなどの経験を通して将来進みたい業界や職種を明確にし、採用選考に必要な支援を行っています。具体的には、応募書類対策講座、グループディスカッション講座、筆記試験対策講座、マナー・メイクアップなどの講座や、業界や企業を知る業界・職種研究セミナー、企業の人事担当から直接話が聞ける企業研究セミナーなど、対策から実践まで様々な講座を準備しています。

年々早期化する企業の採用スケジュールに合わせて、大学での支援行事も例年より早めて開催しています。10月以降に開催している「業界研究セミナー」や「仕事研究セミナー」では100社以上の企業と交流を持ち理解を深めることができます。



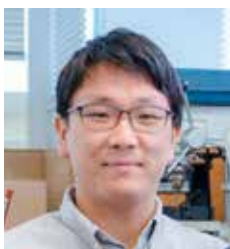
■卒業生との交流「卒業生による仕事研究セミナー」はオンラインと対面の両方で開催

後援会よりご支援いただいております「卒業生による仕事研究セミナー」は、昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンラインで開催いたしましたが、今年度は対面とオンラインの2パターンでの開催を予定しています。対面での開催は12月27日(火)に本学東京千住キャンパスにおいて、オンラインでは1月7日(土)の開催を予定しております。

2日間で約300社の企業の卒業生から仕事の話ややりがい、更には卒業生ならではのアドバイスなど貴重な情報を得ることが出来ます。学生たちは先輩の話を聴いて仕事の理解や魅力を知る絶好の機会であり、普段、社会人と接する機会が少ない学生にとっては卒業生と会話することでコミュニケーションの重要性を確認する上でも貴重な経験をすることができます。

このセミナーに参加するために学生には事前説明会を開催し、予め企業研究をするなど準備をしっかりと整えて参加できるように支援を行っています。採用試験においてはオンラインと対面の両方を実施する企業が増えておりますので、それぞれに参加することで話の伝え方や印象の違いを実感して欲しいと思います。

夢を追い続けて



工学部 先端機械工学科
菅野 祐介さん

内定先 マツダ株式会社

—— 学生生活や勉強、卒業研究で興味をもって取り組んだことは何ですか。

自動車が好きなので、自動車部に入部し車両整備や耐久レースに力を入れ頑張り、特にものづくりに興味を持ち、加工技術などの基礎知識を体得しました。また、三年生では専門科目の先端自動車工学という授業で、自動車を構成する要素技術や運動制御技術を基本から学び、これまで学んできた機械工学、電気工学、制御工学などの各種技術と関連付けて勉強でき、実践面と有機的につなげて物事を考えることができるようになりました。卒業研究では、「走る」「曲がる」「止まる」の「曲がる」の機能を研究したいと思い、最先端の電動パワーステアリングに関するテーマを進めています。

—— 就職活動の自己分析や企業研究などで、実践して役立ったことは何ですか。

就職活動では自己分析という言葉をよく耳にしますが、具体的に何をしたらいいのか分かりませんでした。就職活動を始めた頃の頃は、全く最終面接まで進めませんでした。しかし、新たにエントリーするたびに、研究室の先生にエントリーシートをチェックしてもらったり、前回の面接でのダメな部分を指摘してもらったりすることで成長できたと感じています。第一志望の企業の選考を受ける前に、自分自身を見つめ直せたことと、実践にて体現できたことが合格につながったと思います。

—— コロナ禍での就職活動で苦労したことは何ですか。

私がエントリーした全ての企業は、説明会から面接試験までオンラインでした。オンライン上で注意したことは、途中の音声聞き取りにくいことや、聞き取れな

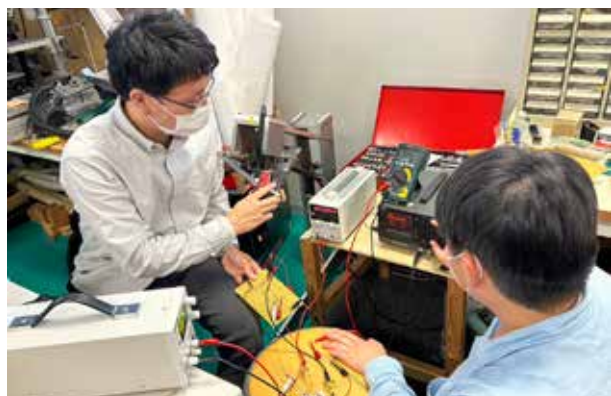
かった場合には遠慮なくその旨を伝え、コミュニケーションが途切れない配慮をしました。また事前に使用機器の動作確認も怠らなく行うことも重要だと思いました。しかし、オンラインならではのメリットとして、時間に自由度があり、自宅から遠い企業の面接でも、午前中に面接を受けて午後から研究室に行くことも可能であり、一日の時間を有意義に使えることが挙げられます。

—— 就職活動中に、ご父母・保証人にしてもらってよかったことは何ですか。

就職活動は大学だけでなく、家族一丸となって取り組むことが重要であると思いました。就職活動に行き詰まり、思い悩んでいた時にも笑顔を絶やさず明るい雰囲気を作ってもらえ、また自宅でのオンライン面接にも協力してもらいました。おかげで無事、自動車メーカー二社に合格し、第一希望への内定を報告することができ、うれしく思います。

—— 就職活動に臨む学生に向けて、メッセージをお願いします。

就職活動は誰でも初めてのことであり、何から手を付けていいのか分からず不安になることもあると思います。しかし、そんな時こそキャリアアドバイザーや研究室の先生、先輩、友人、家族に相談してください。自分一人で抱え込んでいても何も始まりません。最初は不安なことが多いかもしれませんが、たとえ不採用だとしてもそれをバネとして恐れず、しっかり自己分析をして対応するためにエントリーシートや面接練習を重ね、第三者に見てもらうことで成長できます。第一希望に向けて少しずつステップアップしていきましょう。



望む理想のために努力する



工学部第二部 情報通信工学科

高橋 清文さん

内定先 本田技研工業株式会社

— 学生生活や勉強、卒業研究で興味をもって取り組んだことは何ですか。

私は高校時代に、現代でのAIスピーカーのようなシステムの作成を行っており、その延長としてAIや人工知能、データサイエンスについて学びたいと思っていました。そのため、データベースやプログラミングの授業には特に積極的に取り組み、研究室では人工知能について日々機械学習の新しい知識や手法を身に着け、今では日本経済をよりよくするために政府はどのような施策を行うのが良いのか人工知能によって計算しています。

— 就職活動の自己分析や企業研究などで、実践して役立ったことは何ですか。

自己分析を進めていくと自身の得意なこと、企業にPRできることがたくさん出てきます。しかし、私は自身のPRしたいことを絞り、企業の取り組みや理念、自身のやりたいことをすべてPRに結びつけ、芯を作りました。芯を作ることで、実際の面接などでも、質問に対して最後にその芯に戻るような回答をすることで、意見や言いたいことが散らかってしまうことを防ぎ、何を話せばよいかわからなくなることを避けることができました。

— コロナ禍での就職活動で苦労したことは何ですか。

就職活動をするうえで一番大変だったのは、対面での活動ができなかった点です。実際に会って話をするのとカメラ越しで話をするのでは大きな違いがありました。入室時のマ

ナーが違うことや、話しているときの目線のやり方も違います。また、実際に会って話している時と同じリアクションや所作では伝わらないため身振り手振りをできるだけ大きくするよう意識しなければなりません。そのなかでも自然に会話を行うことには苦労しました。

— 就職活動中に、ご父母・保証人にしてもらってよかったことは何ですか。

コロナ禍ということもあり、インターンシップ、企業説明会、面接とすべてがオンラインで実施されていました。実家暮らしということもあり、部屋に立ち入らない、できるだけ大きな音をたてないようにしてもらうことが多々ありました。日によっては食事の時間などをずらしたり、家族の予定を崩すこともあったり、それでも最後まで付き合い、選考が通れば一緒に喜んでもらえるのは、私にとって活動の大きな支えになりました。

— 就職活動に臨む学生に向けて、メッセージをお願いします。

就職活動の大変さや、やるべきことは先輩や、アドバイザーから聞いているかもしれませんが、私は実際に説明会に出席することや、エントリーをしてみるまでは実感がありませんでした。就職活動において一番大切なのは経験だと思います。実際に体験しなければわからないこともありますし、活動を進めていくうちに改善点を見つけたり、企業の視野も広がっていきます。失敗を恐れず早いうちからたくさんの経験をしましょう。



等身大の自分で



未来科学部 建築学科

田村 優衣さん

内定先 ポラス株式会社

—— 学生生活や勉強、卒業研究で興味をもって取り組んだことは何ですか。

私は課外活動として廃校を利活用してイベントを開催する学生団体に所属していました。学生団体では様々な価値観を持つ人と出会うことができ、視野が広がりました。学部3年次には学生団体の幹部の一員としてイベントの企画運営に尽力し、コロナ禍で通年より小規模にはなってしまいましたが、無事にイベントを終えることができました。その時の達成感は今でも忘れられません。その経験がきっかけの一つとなり、既存建物の利活用に興味を持ち、卒業研究ではその中でも近年事例が増えている古民家の利活用について研究を進めています。

—— 就職活動の自己分析や企業研究などで、実践して役立ったことは何ですか。

私は企業研究の一環として積極的にOB訪問を行ったことが良かったと感じています。会社で直接お話を伺う機会をいただけたこともあったため、説明会等で聞きづらいことや就職活動での悩みを相談したり、職場の雰囲気を知ることが出来たりと、その後の就職活動においてプラスになりました。自己分析に関しては過去の出来事や体験を振り返りながらモチベーショングラフを作成することで自分自身の理解を深めました。

—— コロナ禍での就職活動で苦労したことは何ですか。

私はオンライン面接が苦手でした。面接では第一印象もかなり重要になってくると考えていたのですが、オンライ

ン面接では開始後すぐに相手の顔が写し出されるため、好印象を持ってもらえるように照明を調節したり、目線のうつし方を工夫したりしました。また、緊張していたとしても笑顔で面接に臨むよう心がけていました。一方で、説明会等のイベントもオンライン開催が多かったため、効率よく多くの企業を知ることができたことはよかったです。

—— 就職活動中に、ご父母・保証人にしてもらってよかったことは何ですか。

両親は就職活動において、私の意思を尊重してくれていたため、プレッシャーを感じることなく自分のペースで進めることができました。また、私が志望している企業から内定をもらうことができるように応援をしてくれていて、相談にもすぐに乗ってくれたので就職活動のストレスはほとんどありませんでした。私が無事に就職活動を終えることができたのは家族の支えがあったからでもあると思っています。

—— 就職活動に臨む学生に向けて、メッセージをお願いします。

私の場合は、3年の夏から興味のある企業のインターンに参加して、秋にはある程度企業を絞って活動をしていました。そのため、希望の企業には、自分の企業への思いを真っ直ぐに強く伝えることができたのだと思います。企業研究は早いうちから開始して、自分なりの志望動機を見つけてみてください。そして、面接では、無理に自分以上のものを見せようとするのではなく、等身大の自分で勝負すると良いと思います。



勉強も遊びもできることは全部行動に移す



システムデザイン工学部 デザイン工学科
二橋 静香さん

内定先 ヤマハ発動機株式会社

—— 学生生活や勉強、卒業研究で興味をもって取り組んだことは何ですか。

私は授業を通じて、モノ作りに興味を持ちました。デザイン工学科ではただモノを作るだけでなく、サービスや人間工学に基づいた考えた方まで学べたことが魅力的でした。また勉強以外ではアルバイトや趣味に没頭しており、毎日予定を埋めていました。卒業研究では、自動車のステアリングスイッチとコンビネーションスイッチの変遷と展望について研究しており、脇見運転による事故を減らせるようなスイッチ以外の新たな操作方法の提案をしています。

—— 就職活動の自己分析や企業研究などで、実践して役立ったことは何ですか。

私は大学生時代に、アルバイトと趣味以外に継続して努力したことがなかったため、大学3年生から一人暮らしを始めました。一人暮らしの経験から得たものは多く、少なくとも良い状況で実践するという行動力は面接でも好評価でした。ES（「エントリーシート」の略）でよく聞かれる「学生時代に頑張ったこと」が見当たらない人は、新たなことに挑戦してみることをお勧めします。また一見よくあるガクチカ（「学生時代に力を入れたいこと」の略）でも、視点を変えれば企業の目に止まるものにできるので、何度も書き直してみてください。

—— コロナ禍での就職活動で苦労したことは何ですか。

長く働き続けられる企業に就職したいと考えていたので会社の雰囲気を重要視していたのですが、企業に行く機会

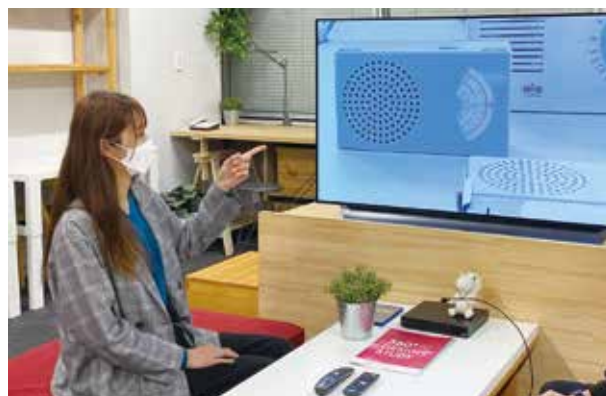
がなかったことに苦労しました。私は、プレゼン内容がユニークで、面接官の方々の雰囲気がどの企業よりも良かったことを理由に就職を決めました。一方で、会社説明会やインターンがオンラインでの実施だったことでより多くの企業を知ることができたのは良かったと思います。

—— 就職活動中に、ご父母・保証人にしてもらってよかったことは何ですか。

私は初めBtoCのごく一部の企業しか見ていませんでしたが、両親が私の知らない業界や企業を提案してくれたので、視野が広がって良かったです。またメーカーに勤めている姉にESを添削してもらえたこと、面接官をしている父に面接中何を重要視しているのか聞いたことはとても為になりました。就活が終わるまで急かされることもなく自分のペースで続けさせてくれ、就職先が決まった際にはとても喜んでくれた両親にはとても感謝しています。

—— 就職活動に臨む学生に向けて、メッセージをお願いします。

私は人一倍メンタルが強いのですが、それでも面接に何度も落ちた時はとても辛かったです。電大の面接練習やES添削など、使えることは全部やって自信をつけて挑戦してみてください。行き詰まったときは、一人で悩まず家族や教授に相談してみてください。面接やESに落ちても、私を見る目がないな、くらいの気持ちで挑んでください。企業は選んでもらうのではなく、選ぶものです。緊張するとは思いますが、一生懸命努力してきた自分を信じて頑張ってください。



コロナ禍だからできること



理工学部 理工学科機械工学系
畑中 信乃さん

内定先 日機装株式会社

——学生生活や勉強、卒業研究で興味をもって取り組んだことは何ですか。

勉強面では、機械工学を学んでいます。特に2、3年での機械設計製図の授業では、実際に手を動かし、考えながら図面作成を行うのですが、完成させた後の達成感や仲間とコミュニケーションを取りながら行う設計の楽しさを学びました。

卒業研究では産業施設における、配管システムの損傷と機能維持に関する研究を行っています。

勉強だけでなく、軽音楽同好会でのサークル活動や飲食店でのアルバイト等、大学生活の中で自身が興味を持ち、初めて取り組んだことが多かったです。

——就職活動の自己分析や企業研究などで、実践して役立ったことは何ですか。

自己分析は、中学時代まで遡り自分がどのように学生生活を送っていたのか、部活動での役割等、振り返りながら行っていました。自己分析を深掘りしたおかげか、面接では自分がどんな人間なのかをより分かり易く説明出来、とても役立ちました。

また、企業研究では会社説明会やインターンシップに参加したりと、様々な企業について自己分析と同様に深掘りしていきました。企業研究をしていくうちに、ここで働きたい！と思う企業に出会いました。

——コロナ禍での就職活動で苦労したことは何ですか。

対面でのイベントが少ないことです。インターネットでも企業についての情報は取得出来ますが、対面でしか感じ取れない事も沢山あります。

夏のインターンシップにおいては、対面での開催が中止

となった企業が多かったです。

冬のインターンシップは長期でも対面で開催されたので、実際に足を運び、職場の雰囲気や、社員の方々からお話を聞くことは、貴重な経験となりました。

コロナ禍においての対面でのイベントが少なく、苦労しました。

——就職活動中に、ご父母・保証人にしてもらってよかったことは何ですか。

就活における相談は、友達や大学のキャリアアドバイザーもそうですが、特に両親に相談しており、本当にお世話になりました。

母がメーカー勤務だったこともあり、企業研究においては、助言を貰いました。また、面接練習も両親に手伝って貰いました。

私はとても心配性なので、「こんな質問をされたらどうしよう」「自己PRはこれでいいのかわかるか」等、本選考中も心配事が絶えなかったのですが、両親ともに激励され、元気を貰い、就活を無事乗り越えることが出来ました。

——就職活動に臨む学生に向けて、メッセージをお願いします。

私もそうでしたが就職を考えたときにまず不安が押し寄せてくる学生さんがいると思います。たとえES(「エントリーシート」の略)や面接で落ちてでも「私を落とすなんてもったいないことしたな」くらいな気持ちで挑めばいいと思います。企業はごまんとあり、必ず自分の良さを分かってくれる人がいます。キャリアアドバイザーなどを活用し、いっぱい練習し、楽しみながら就職活動頑張ってください。





TDU Space Project

審査会を経て後援会より
20万円を支援

TDU Space Project ARLISS 2022 結果報告

理工学部 機械工学系 2年 チームリーダー 青柳 洸太郎



打ち上げ



ロケット運搬中



ロケット角度調整中



打ち上げ前



ゴール後の機体

私たち TDU Space Project は CanSat と呼ばれる小型模擬惑星探査機の開発を行い、アメリカで開催される国際大会 ARLISS (A Rocket Launch for International Student Satellites) 2022 に参戦しました。この大会は最も難しい CanSat の大会で、CanSat をロケットに搭載し上空 4000m まで打ち上げます。その後パラシュートによって降下し、人の手を介さない自律制御で砂漠の中を走行し、ゴールまでの到達距離を競います。今年は 4 か国から 16 チームが参加し、ゴールまでたどり着いたチームは 2 チームでした。

本チームは 2 回の打ち上げを行い、1 回目はパラシュート分離時のトラブルによりリタイアとなりましたが、2 回目の打ち上げでゴールから 3.6km 地点に着地後、106m まで走行し、ゴールまでの距離を競う Accuracy Award においてチーム歴代最高順位となる 2 位を獲得することができました。また、大会中に開催された技術報告会において機体の技術難易度や耐久性、機能が評価され、Technical System Award において 1 位を獲得することができました。

私たちの機体の大きな特徴は機体の強度です。ARLISS ではロケット打ち上げ時やパラシュートの開傘時など様々な場面で強い衝撃が加わります。それらの衝撃によって機体の動作に支障をきたさないよう、機体はアルミ合金と

CFRP (カーボン複合材) を用いたモノコック構造のボディで構成されています。また、砂漠では車両の通行跡などが轍となっており、CanSat がスタックや横転する要因となっています。その対策として走破性能を高めるために四輪駆動の機体とし、表裏どちらの面が上でも走行可能なデザインになっています。2022 年の ARLISS においても二回の打ち上げと走行でスタックや機構の故障は起こらずハードウェアの高い信頼性を示すことができました。

今後は来年の ARLISS での優勝を目標に、直近の大会である 3 月に開催される種子島ロケットコンテストに向けた機体の設計、製作を行っていきます。今回、3 年ぶりに開催された ARLISS で私は初めて現地に行き、スケールの大きさと環境の過酷さ、ロケットで打ち上げることによる実際の探査機に近い状況での動作など国内大会との違いを肌で感じる事ができました。現在の私たちに足りないものを補いつつ、強みを伸ばして来年の ARLISS で優勝します。

学生のうちに貴重な経験ができていたのも後援会をはじめ多くの方々からのご支援あってこそのものであります。本当にありがとうございます。今後もさらなる記録向上を目指し、ARLISS での優勝を目指して活動していきます。ぜひ応援よろしくお願いします。

35万円を支援

自動車部

夢の1リッターあたり4000kmへ

理工学部 機械工学系 3年
國府田 悠稀



私たち自動車部は本田技研工業が主催する「Honda エコマイルレッジ チャレンジ」、通称「エコラン」と呼ばれる1リットルのガソリンで何キロメートル走行できるのかという、燃費を競う競技に参戦しています。出場クラスは中学生、高校生、大学生、社会人、二輪車に分けられており、毎年全国から200チーム以上が参戦する大規模な大会です。現在の日本最高記録は1リッターあたり3644kmのため、当チームは1リッターあたり4000kmを目標に日々活動しています。

今年の10月1日(土)と2日(日)の2日間にわたり開催された全国大会では、自作マシンで参戦する大学生クラスと、Honda製の50ccバイクで参戦する二輪車クラスに参戦しました。今回の大会は新型コロナウイルスの影響により3年ぶりの開催でした。当チームは1年生に実力をつけてもらう為、過去に製作したマシンを1年生中心で改良し、臨みました。結果は大学生クラスでは1リッターあたり536kmで47位中

14位、二輪車クラスでは167kmで34位中12位でした。満足のいく結果とは言えませんが、過去の記録と比べて1年生中心のチームがこの記録を出せたのは良かったと思いますし、一人一人が気づきを得られた大会でした。

今回の大会後の1年生を見ると、自ら考え、これからやることをアウトプットしてくれる量が増えています。そしてアウトプットに対して、先輩たちがアドバイスをし、チーム全体のレベルが上がっているように感じます。これからは一人一人が全体を俯瞰して動くことで、チームでやっていることを意識して活動していきます。また、来年度はこれまでの自作マシンにはないようなコンセプトの新車両を開発し、目標の1リッターあたり4000kmを目指します。

これまでご支援していただいた皆様方、ありがとうございました。これからも自動車部は目標に向けて活動していきますので、ご期待ください。

東京電機大学 FCV・EV プロジェクト

20万円を支援

バックス 2022 とともに

工学部 電気電子工学科 4年

西 悠斗



東京電機大学FCV・EVプロジェクトは、先生、OB、企業の協力を得て、今年の8月に秋田県大潟村で開催された、世界三大ソーラーカーラリーレースのひとつである、ワールド・グリーン・チャレンジ・ソーラーカー・ラリー (WGC) に参加しました。本大会はクリーンなエネルギーを用いた自動車のレースです。このレースは速度を競うものではなく、省エネ技術を含む持続可能なエネルギー社会の実現を目指し、あらゆる提案を目的とした大会になっています。

2019年に出場した大会では、ゼロから車両を設計・製作しました。そして、今大会では新たな取り組みとして、自動車に使用されるほぼ全ての電気部品をゼロから設計・製作し、実際に車両に搭載して出場しました。授業後や休日等を利用して、先生やOBからアドバイスを貰いながら、実験を繰り返して、製作を進めていきました。実際に手を動かすことで、座学で学んだことを実践でき、座学だけでは得られない経験、ものづくりの面白さや難しさを感じながら自動車を作り上げました。

大会当日は、電気部品の故障、ライトが点灯しないなど、トラブルが発生しましたが、なんとか車検に合格すること

ができました。しかし、そのあとに発生した大雨の影響によって、防水対策を十分にできていなかった私たちの車「バックス2022」の内部には水が入り、再度、電気部品が故障してしまいました。それでも諦めずに修理を行いました。レースで走行することはできませんでしたが、電気部品を自作することは初の試みであったため、まだまだ、改善しなければならないところが多くあると思いました。それと同時に、車検の時だけでも、私たちが自作した自動車を走らせることができたことに、とても感動しました。

このプロジェクトは、他大学と肩を並べられるようなチームになることを目指し、今後も大会に参加し続けます。さらに、私たちは公道を走る自動車の実現を目標にしています。公道を走る自動車の製作は、素晴らしい技術者に近づくための一歩であると考えています。

最後に、私達の活動にご理解をいただき、多大なる支援をしていただいた後援会の皆様に深く感謝致します。今後も公道を走る自動車の実現に向けて、活動を続けていきますので、温かいご支援のほどよろしくお願い致します。

東京千住キャンパス

- 11号館 (複合施設)**
ロジック
丹羽ホール
100周年ホール
カフェ(イタリアントマトJr.)
ギャラリー
実験・実習室
ワークショップ教室
教員室・研究室
セミナー室
学生ラウンジ
ルーフガーデン1
入試センター
国際センター
法人・大学本部
校友会
総合受付
- 22号館 (図書館・教室)**
図書館
教室・パソコン教室
学生ラウンジ
ルーフガーデン2
東京千住キャンパス事務部
学生支援センター
総合メディアセンター
健康・学生相談室
受付
- 33号館 (学生厚生施設)**
食堂
カフェラウンジ
売店
学生ラウンジ
体育館
武道場
トレーニングルーム
学生部室
- 44号館 (研究施設)**
実験・実習室
教員室・研究室
教室
セミナー室
学生ラウンジ
受付
- 55号館**
教室
実験・実習室
教室・研究室
ものづくりセンター千住
学生ラウンジ
民間スポーツクラブ
ルーフガーデン3
総合メディアセンター
情報環境学部事務部
受付



埼玉鳩山キャンパス

- 11号館**
総合メディアセンター
(パソコン実習室)
(図書閲覧室)
研究室
ATM
- 22号館**
総合メディアセンター
(パソコン実習室)
研究室
実験室
夢工房
- 33号館**
教室
研究室
化学実験室
- 44号館**
第1学生食堂「櫛」
喫茶「HATO CAFE」
理容室・郵便局
- 55号館**
体育館
- 66号館**
教室
研究室
実験室
- 77号館**
第2学生食堂「樹海」
- 88号館**
教室
物理実験室
研究室
- 99号館 (100周年記念棟)**
自習室
クラブ・委員会室
ラウンジ・売店
リエゾン施設
談話室
- 1010号館 (本館)**
エントランスホール
事務室
プレゼンテーションホール
メディアルーム
教室
パソコン教室
- 1111号館**
総合研究所
埼玉共同利用施設
- 1212号館**
アトリウム
学習サポートセンター
国際センター鳩山ランチ
教室
実験室
研究室
バーチャルスタジオ
- 13多目的広場**



2021(令和3)年度は、「奨学金の充実」「施設・設備の充実」「課外活動への支援等」の用途区分で募金活動を行い、1,235件、97,468,614円(内ご父母155件、3,353,613円)のご寄付を賜りました。

また、2021(令和3)年度につきましても、新型コロナウイルス感染症拡大により経済的に困窮した学生・生徒への支援に際し、大学院、大学、高等学校、中学校に在学する学生・生徒のご父母の皆様をはじめ、卒業生、教職員・元教職員や一般賛同者の個人、団体、法人から、温かいご支援を賜りました。皆様からのご厚志に心より御礼申し上げます。

今後とも、本学園に対しまして、ご支援お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

なお、サポート募金を原資として実施した各事業につきましても、以下のとおりご紹介させていただきます。

学校法人東京電機大学 理事長／学校法人東京電機大学サポート募金委員会委員長
石塚 昌昭

1. 新型コロナウイルス対策

本学学生が安心して大学での活動に取り組めるよう、東京千住、埼玉鳩山の両キャンパスにおいて、新型コロナウイルスワクチンの大学拠点接種(職域接種)を実施いたしました。接種対象は、本学学生、教職員をはじめ、教職員の同居家族(12歳以上)等とし、希望するすべての対象者(のべ5,596人)に対し接種を完了いたしました。

なお、国等からの要請により、「職域接種」において同一会場で2回目の接種を受けることが困難な方、近隣の学校関係者についても受け入れ対応いたしました。



東京千住キャンパス



埼玉鳩山キャンパス

2. 東京千住キャンパス5号館「ものづくりセンター千住」

2016(平成29)年4月に開設した東京千住キャンパス5号館の「ものづくりセンター千住」は、「教育」「研究」「社会貢献」を目的とした、東京電機大学の建学の精神「実学尊重」を具現化する最新施設です。安全講習・加工講習など、各種講習会の開催やブロのスキル・豊富な知識を有する技術員による技術相談の実施を通じ、学生の技術的思考の涵養・学生主体のものづくりを支援するための教育を推進しています。

2021(令和3)年度は、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない状況下ではありましたが、事前予約制とし、平時と同様にサービスを行うことができました。利用者の多い3Dプリンタでは、フィラメントを十分に用意し、学生の利用に支障をきたすことのないようにしました。さらに、超小型マシニングセンタでは、治工具を多数導入し、学生のものづくり活動を強力にサポートすることができました。

今後も対面・オンラインを相補的に活用し、また、ご支援により導入した機器を活用し、高品質なサービス・支援を効率的に提供いたします。

また、埼玉鳩山キャンパスにおいても、東京千住キャンパスと同様にものづくりセンター鳩山を開設するにあたり、2022(令和4)年度は試行運用を開始しており、2023(令和5)年度からの本格運用に向けて準備を進めてまいります。



加工講習の様子



加工の一例：印鑑

3. 未来科学部情報メディア学科 演習室の教育環境整備

井上清様(本学園卒業生)からのご厚志を原資とし、学科演習室において、学生個人やグループによる主体的学習、および創発的な実験の促進を図るため、新たに高解像度4K信号対応プロジェクタ、4K信号対応スイッチャ、VPS/クラウド用サーバを導入し、教育環境の整備をいたしました。

実社会に近い実践環境が整備されたことにより、即戦力かつ多様な能力を社会に還元できる人材の育成が可能となります。また、制作した映像・CGコンテンツや構築したWebシステムを学生自らプレゼンテーションする場となり、本学の教育をアピールする1つの手段となります。



情報メディア学実践的教育設備

4. 奨学金の充実

(1) 学生サポート給付奨学金

サポート募金を原資とした「学生サポート給付奨学金制度」は、家計急変により学費の支弁が困難な修学意欲のある学部生に対し、在学中1回に限り25万円給付いたします。

2021(令和3)年度は、家計急変による学費の支弁が困難な学生の増加が見込まれることを鑑み、2021(令和3)年度、2022(令和4)年度の2年間の特別措置として、制度の一部を緩和いたしました。給付額25万円および50万円の区分で募集し、22名の学生に対し、総額900万円の奨学金を給付いたしました。2022(令和4)年度も新型コロナウイルス感染症拡大に係る影響を受け、家計が急変した学生の支援を積極的に行ってまいります。

(2) 東京電機大学深井綾女性研究者・技術者育成特別奨学金

初代電機第一工業学校長などを歴任された故波多諄三先生のご息女 故深井綾様からのご厚志を原資とし、「東京電機大学 深井綾女性研究者・技術者育成特別奨学金制度」を実施しています。

本制度は、大学院に在学する女子学生に対して奨学金を給付し、将来、研究者・技術者として社会で活躍できる人材育成を目的としています。

2021(令和3)年度は、82名の学生に奨学金を給付いたしました。

奨学金受給学生からの感謝の声

コロナ禍で収入も減る中、本奨学金には助けられました。

オンラインでの作業も多くなり、主に自宅設備の拡充に使用いたしました。研究室と同等以上の作業環境を構築できましたので、研究が快適に行えました。募金をしていただいた皆様に感謝申し上げます。

昨年、父が病氣により収入が減少してしまったため、バイトなどの勤務を増やして当面のやりくりをしていたのですが、給付のおかげで勉学に専念することもできましたし、精神的にも不安な要素を減らしました。寄付をしていただいた方に深く感謝しておりますと共に、今後も困難な状況に立っている人物がいたのならその方にも手を差し伸べて頂けると幸いです。重ね重ね申し上げますが本当にありがとうございます。

皆様が寄付してくださったおかげで大学に通い続けることができている。いろいろな方々からの協力があって大学生活が続けられていることを忘れずに、勉強に励みたいと思います。ありがとうございます。

「深井綾女性研究者・技術者育成特別奨学金」をいただくことができ、大学院での学びに専念することができました。大学院の研究では、学会発表や実験など不定期な予定が入ることが多いので、アルバイトのために時間を確保することが難しい状況でした。また、大学4年間で経済的に援助してくれていた両親に、大学院では負担をかけたくないと感じていました。本奨学金のおかげで、研究活動や後輩指導に積極的に参加することができ、充実した大学院生活を送ることができました。大変感謝しております。

5. 東京電機大学神山治貴海外留学派遣奨学金

神山治貴様(本学卒業生)からのご厚志を原資とし、「東京電機大学神山治貴海外留学派遣プログラム」を2015(平成27)年度から開始いたしました。

本プログラムは、本学の学部在学学生で学長賞の受賞者のうち、学部又は修士在学中に英語圏の大学等に海外留学(単位取得)を希望する者の中から選考し、優秀でグローバルな人材を育成することを目的としています。

2021(令和3)年度は、1名の学生(工学研究科電気電子工学専攻所属の修士課程2年生)がクイーンズランド工科大学へ留学が認められましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により入国することができず、オンラインで授業を受講し、72単位を取得しました。

2022(令和4)年度の留学予定として、3名の学生(システムデザイン工学研究科1年生、未来科学部3年生、理工学部3年生)が本奨学金の候補者となっています。

東京電機大学神山治貴海外留学派遣プログラム留学生からの報告



授業の様子

クイーンズランド工科大学での授業では学生同士で意見交換する機会が多く設けられ、ウェブサイトを通じて、学習資料、ライブ授業、ビデオ録画の視聴ができるなど、大変良い学習環境で勉強することができました。

留学生活を通じて、私は、様々な経験を積むこと、多くの人々と意見を交わし合うこと、自分の意見を持ち伝えること、行動力が人の成長を支えることの重要性を実感しました。

神山奨学金をいただけたことにより、大変有意義な留学を終えることができました。ありがとうございました。

6. 施設・設備の充実

(1) 電気電子工学基礎実験室への什器購入(工学部電気電子工学科)

実験に使用する機材や測定器の収納のため、中量級キャスター付きラックを3台購入いたしました。強度があり、移動が安定することや格納容量アップにより機器の取り扱いが容易になりました。

(2) 就職ガイダンスの開催(学生支援センター(キャリア・就職支援担当))

全学生を対象としたTDUキャリアデザインプログラム「ふかく考える力を身につけよう!」をオンライン開催し、オンデマンド配信聴講を含む407名が受講いたしました。

7. 課外活動への支援

課外活動への支援として、次の22団体に対してご寄付をいただきました。

(1) 東京千住キャンパス(13団体)

- グリークラブ ● 管弦楽部 ● 写真部 ● アマチュア無線部 ● ソフトウェア研究部 ● 吹奏楽部
- 合同体育祭 ● 卓球部 ● 水泳部 ● IDC ロボコン ● ワンダーフォーゲル部
- 剣道部 ● 硬式野球部

(2) 埼玉鳩山キャンパス(9団体)

- eスポーツ同好会 ● JAZZ 研究会部 ● 理工学部軽音楽同好会 ● 放送委員会 ● 理工学部体育会
- TDUスペースプロジェクト ● 軽登山部 ● 硬式庭球部 ● 東京電機大学Formula SAE Project

● 学生団体よりサポート募金の使用用途の報告

剣道部(東京千住キャンパス)

剣道部は、新型コロナウイルスの感染拡大により2021年7月までの1年4か月間、活動の大半が制限され、キャンパスでの稽古が出来ませんでした。そのような状況ではありましたが、Zoomで部員同士が素振りや筋トレを一緒に行う会を開催し、レクリエーション会を開催するなどして部員同士のつながりを絶やさないようにしました。また、Twitterで新規部員の獲得に努めました。現在は通学ができるようになり、武道場での活動を再開しており、各種大会にも参加できるようになりました。

OB・OGの皆様からいただいたサポート募金は活動再開時に必要となった各種費用に充てさせていただきました。秋季部員登録料及び使用期限が切れたり、劣化した備品(テーピングやコートスプレーなど)の交換費用として使用しました。ご支援いただきましてありがとうございました。



TDUスペースプロジェクト(埼玉鳩山キャンパス)

模擬惑星探査機(CanSat)を開発し、アメリカのネバダ州で行われる国際大会(ARLISS)に出場し優勝をすることを目指して活動しましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止となりました。国内ではARLISSの代替大会として静岡県の朝霧高原で開催されたACTS(朝霧高原缶サット投下試験)に参加し、総合3位を獲得しました。

また、令和3年度は、例年、種子島で開催される「種子島ロケットコンテスト」にオンラインで参加し、自動制御カムバック種目5位を獲得しました。支援していただいたお金で電装に必要なセンサーや、モーターなどの部品、機体の調整や整備に必要な工具を購入させていただきました。ご支援ありがとうございました。



8. その他の事業に対する主な寄付

- (1) ME(生体医工学)講座の推進 (2) 健康相談室に対する支援
- (3) 工学部第二部の教育・研究に対する支援 (4) 未来科学部の教育・研究に対する支援
- (5) 未来科学部 情報メディア学科の施設・設備の充実
- (6) 未来科学部 ロボット・メカトロニクス学科の教育・研究に対する支援
- (7) 理工学部電子工学系の施設・設備の充実
- (8) 東京千住キャンパスの研究、設備の充実 (9) グランドピアノの購入
- (10) ものづくりセンター施設・設備の充実 (11) 留学生に対する支援
- (12) 産学連携・社会連携事業に対する支援

東京電機大学後援会ホームページ

後援会のお知らせや事業紹介、父母懇談会の日程、『学苑』のバックナンバーなどを掲載しています。



ぜひご覧ください。
今すぐQRコードから
アクセス！



東京電機大学後援会

<https://www.dendai.ac.jp/about/campuslife/tdupfa/top.html>

大学の事務取扱は、その内容により担当部署が分かれています。お問い合わせなどは下記の部署にご連絡ください。

学業関係 授業、試験、成績など

●工、工2、未来、システム、情環	
東京千住キャンパス事務部(教務担当)	03-5284-5333
●理工	
理工学部事務部(教務担当)	049-296-0430

学生生活関係、奨学金、クラブ活動など

●工、工2、未来、システム、情環	
学生支援センター(学生厚生担当)	03-5284-5340
●理工	
理工学部事務部(学生厚生担当)	049-296-0496

就職関係 就職、アルバイトなど

●工、工2、未来、システム、情環	
学生支援センター(キャリア支援・就職担当)	03-5284-5344
●理工	
理工学部事務部(学生厚生担当)	049-296-0489

進学関係 大学院進学、学部の転部、編入学など

●全学部	
入試センター	03-5284-5151

学費関係 授業料、手数料など

●全学部	
経理部(会計担当)	03-5284-5131

国際交流関係 留学生、短期海外英語研修など

●全学部	
国際センター	03-5284-5208

後援会関係 父母懇談会など

●全学部	
後援会事務局(学生支援センター(学生厚生担当))	03-5284-5340

※工=工学部、工2=工学部第二部、理工=理工学部、情環=情報環境学部、未来=未来科学部、システム=システムデザイン工学部

後援会へのご意見はこちらへ

後援会では、東京電機大学がより良い大学となるよう活動を展開したいと考えております。

つきましては、ご子女を通学させる中で、日頃感じている問題点や要望など、率直なご意見をお聞かせくだされば幸いです。

メール gs_kouenkai@jim.dendai.ac.jp

電話 03-5284-5340

『学苑』第163号(非売品)

2022年11月発行

発行 東京電機大学後援会

発行者 金澤 美奈子

印刷 東京アート紙行株式会社

東京電機大学後援会事務局

(学生支援センター(学生厚生担当))

Tel: 03-5284-5340 Fax: 03-5284-5391

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番

<https://www.dendai.ac.jp/about/campuslife/tdupfa/top.html>